

俳句作りの手引

1 俳句とは

- (1) 世界で最も短く、そして内容が深く豊かな詩
- (2) 日本語が持つ美しいリズムを生かしてうたう詩
- (3) 自然をうたい、自然とともに生きる人の心をうたう詩

2 俳句は長い伝統を持つ日本人の宝であり、現在日本中の大勢の人々や世界の人々はそのすばらしさを知って作っています。

3 俳句の楽しさ、すばらしさ

- (1) 美しい自然や季節に親しむ心
- (2) 生まれ育った山・川・海、町やその歴史に親しむ
- (3) 私たちの周りに生きている草花や木、虫・鳥・魚などを、新たな目や心でよく見ると、みんなせい一杯生きていることに気づく
- (4) その美しさを発見し、感動する心をうたう
- (5) 楽しく遊びながら、生きた国語の勉強になる

4 俳句作りの基本

- (1) できるだけ五・七・五の十七音のリズムに乗せて表現する。
- (2) 季語(季節を表す動植物・生活・自然などの言葉)を一つ入れて作る。
- (3) 見たもの、感じたことなどをすなおな言葉で表現する

5 具体例

昨年の第13回櫓山荘子ども俳句大会での入賞作品を紹介します。

- ・ 亡き祖父のはしを並べる盆の夜
- ・ 夏の海遠くに見えるはおきのしま
- ・ ヒガンバナ真っ赤にそまリオどってる
- ・ 炎天下必死にボールを追った夏
- ・ 努力した部活の汗は宝物
- ・ ひさびさに祖母の笑顔に会った盆
- ・ はなやかな浴衣でとぶはあげはちょう
- ・ 激流に飛び込んで行く鮎の群れ
- ・ 甲子園汗と涙とつちまみれ
- ・ 今年の夏政治も天気も荒れている

以上の作品を見て、決して俳句は難しいものではないとおわかりいただけることと思います。

6 俳句を作ることによって

(1) 自然やすべての生き物、家族や友達を大切にするやさしい心、豊かな美しい心が育つ。

(2) 美しいものを求め、感動する心を養い、今までの人生と違った楽しさ、大切さを見出すことができる。

7 最後に

修学旅行の思い出や夏休みに体験したことをぜひ俳句にしていだきたいと思います。子ども俳句大会への応募をよろしく願いいたします。